

平成 29 年度 第 2 回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

開催日時	平成 30 年 3 月 2 日 (金) 14:30~15:00
開催場所	大槌町デイサービスセンターはまぎく
出席者	・利用者家族代表 1 名 ・地域住民代表 1 名 (1 名は欠席) ・知見者 1 名 ・町職員 1 名 ・地域包括支援センター 1 名 ・事務局 3 名

【協議内容】

1. 活動状況報告
2. 利用者アンケートの調査結果報告と事業所自己評価の報告
3. 次年度からの運営推進会議構成委員の選出について
4. その他

【活動状況報告】

(事務局より)

- ・前年度より要介護度の利用者数が増えたが、一方で要支援の利用者数が減っている。
- ・入所希望者が空き待ち状態の為、中重度利用者の回数増希望が増えたことで、要支援者を週 2 回受け入れすることが難しくなっている。来年度から、現在の要支援者及び新規の要支援者は週 1 回の受け入れとする方針でいる。
- ・中重度の利用者が増えたことにより、マンツーマンの介護が必要となるケースが増えている。
- ・ボランティアの受け入れは行っているが、ボランティア団体の数も減ってきていたため、一定のボランティア団体しか来ていない。また、地域交流活動を企画し、チラシを近隣住民に配布しても参加が見られない。理由として、若い世代は仕事、日中自宅にいる方はご高齢の方々で、立地的にも来所することが難しいと思われる。
- ・事故報告が続き、職員全体で業務内容の見直しを行ったと共に、事故原因と思われる利用者全体の身体機能の低下を踏まえて機能訓練、口腔体操の内容強化を図り実施している。
- ・職員研修にも力を入れている。ベテラン職員が動作介助の研修に参加、その研修内容を自施設で全職員に周知した。
- ・地域密着型の施設であるため、地域との関わり方を考えていきたい。

(地域住民代表者様より)

- ・研修へ参加し、その内容を職員に教える事は教えられる立場も教える立場も良いことであると思う。
- ・地域住民との関わりについて、避難訓練や行事等は近所だけでなく、利用者家族にも声をかけても良いと思う。(同意見多数)
- ・震災後の大槌祭りの DVD を貸すので、それをスクリーンに映し上映会を行ってはどうか。その際地域住民や家族にも声をかけ地域との関わりを持ってはどうか。(同意見多数)

【利用者アンケートの調査結果報告と事業所自己評価の報告】

(事務局より)

- ・アンケート調査の実施方法について、前年度の回答率を踏まえ、アンケートの時間を設け実施した。回答に困っている方や認知症状の強い方へは家族に協力を頂き、お陰様で 100% の回収率であった。
- ・全体的に満足度の高い回答が得られたが、驕ることなく質の高いサービスの向上を目指し図りたいと思っている。
- ・職員の「自己・事業所内評価」について、結果から利用者一人一人に対して適切な介護、介助、支援ができることが窺えた。また職員間の人間関係も良好で、業務上で意見交換が気兼ねなく頻回に行える環境にあ

る為、ストレス抱えることが無いという意見があった。

【次年度から任期 2 年の運営推進会議構成委員の選出について】

(事務局より)

- ・次期構成委員を継続していただける方を募る。

(地域住民代表者様より)

- ・地域住民代表者 継続
- ・知見者 継続
- ・利用者家族代表 保留（他家族代表がいなければ継続する）
- ・包括支援センター様 人事異動がなければ継続

【その他について意見】

(町職員様より)

- ・包括支援センターでも介護者教室を開催しているが、やはり参加者が少ない。継続して行っていくので、スタッフの方も気兼ねなく参加してほしい。